

質問

首にしこりがあるようなのですが、痛くないのでこのまま様子を見ていても大丈夫でしょうか。

首にしこり様子みていいか



北村 嘉章

徳島大学病院

耳鼻咽喉科・

頭頸部外科教授

回答

首のしこりで多いのはリンパ節の腫大です。頸部リンパ節腫大の原因の多くはウイルスや細菌の感染による炎症性のもので、炎症が治まれば縮小します。しかし、首のしこりが1〜2カ月以上持続する場合や、大きくなってきた場合は、頭頸部がんのリンパ節転移の可能性があるため、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の受診を勧めます。

頭頸部がんは、首から上の目と脳を除いたすべての領域に発症するがんの総称で、舌・口腔がん、咽頭がん、喉頭がん、唾液腺がん、鼻腔・副鼻腔がん、甲状腺がんなどがあります。

頭頸部には「聴く」「におう」「味わう」「体のバランスを取る」「かむ」「飲み込む」「会話をする」など生活の質(quality of li

症状続くならリンパ節転移も



f e)に直接影響し、人間が人間らしく生きていくために重要な機能が集中しています。そのため、頭頸部がんの治療ではがんを治すだけでなく、さまざまな機能を可能な限り温存することや再発することも考えなければなりません。また、治療に

がん何でもクイズ

胃をふくらませる薬とバリウム(造影剤)を飲み、胃の状態を観察する検査は何ですか。  
①胃内視鏡検査②胃X線検査③CT検査

行こうよ！がん検診



医療用ロボットを使ってがんの手術を行う医師

よって顔の見た目が変化することもあるため、整容面(見た目)にも配慮して治療が行われます。頭頸部がんの治療は主

に手術、放射線、抗がん剤による治療が長年行われてきましたが、近年は免疫チェックポイント阻害薬、ロボット支援手術、内・外視鏡手術、光免疫療法、がんゲノム医療、強度変調放射線治療などの新しい治療の導入によって、以前より機能が温存されるようになり、治療成績も向上しています。

頭頸部がんは、喫煙や飲酒を続けることで発症リスクが高まることが分かっています。また、中咽頭がんではヒトパピローマウイルス感染、上咽頭がんではエプスタイン・バルウイルス感染が発症に関与しており、口腔がんではむし歯など口腔内の不衛生がリスク因子になります。喫煙や飲酒を長年続けている人が、口や喉の違和感とともに首にしこりを感じるようになった場合は特に注意が必要です。早めに耳鼻咽喉科・頭頸部外科を受診し、内視鏡検査を受けるようにしてください。

早めに内視鏡検査を

ality of li